

## ■ 付録:ソウル赤十字病院の院内風景

最後にソウル赤十字病院の院内スナップを写真28～33で紹介したい。病院の院内では、いかにも病院らしい風景の多くはフレームに患者が入ってしまうため写真が撮れない。それならばと院外に出て病院建物を撮ってみようとする、今度は建物が大きすぎて全体を写せない。病院は写真には実に不向な場所だ。

今回は、このソウル赤十字病院が開設したばかりの「ホスピス・緩和ケア病棟」を紹介したい。



写真28: 休館と新館との渡り廊下付近。壁は白一色ではなく、シンプルなデザインながらも素敵である。左側は家庭医学科 (Family Medicine Department) の外来受付。病院におけるFamily Medicine Departmentを初めて見聞きました。あらゆる症状、年齢の患者のプライマリーケアを診る総合医やファミリドクターは診療所の医師、と思い込んでいた視野狭窄の自分に反省。



写真29: 理学療法室・作業療法室。



写真30: MRI室の検査受付番号呼び出しモニター。日本では、どの病院でもMRI室には患者呼び出しモニターを装備していないと思う。



写真31: 「注射室/デイケアセンター」の扉。注射室の看板は初めて見た。実に面白い。「Day Care」という単語は英語圏では子供の保育を意味する。しかし和製英語の「デイケア」は介護施設での通所リハを指している。デイケアは外国人と話すときには誤解が生じないように注意を要する医療用語だ。さてこの韓国の病院での「Day Care Center」はどのような内容なのだろうか。



写真32: 左側は産婦人科の診察室。正面は「Healthy Neighbor Center」カウンターは両方の受付を兼ねている。看護師が背の高いカウンターチェアに座っている。植木鉢のプランツは白樺の造花。2か所に消火器が見える。



写真33: 「Healthy Neighbor Center」ソウル赤十字病院とヒュンダイ財団、ソウル大学病院が共同で開設したセンター。中国語表記では「希望診療センター」と訳されていた。センターの目的は多文化家族 (multicultural families) の健康改善で、医療上の問題を解消したい家族たちを支援するために、特別の医療サービス、多彩なプログラム提供、治療支援を行う。スタッフは家庭医学科、内科、精神神経科、産婦人科の専門家で、個別または統合して治療にあたる。